

一般社団法人 日本医学会連合

<2021 年度>

事業報告書

決算報告書

監査報告書

自 2021 年 4月1日

至 2022 年 3月31日



# 事業報告書

## I. 組織の状況

### 1. 会員数

141 学会（2022 年 3 月 31 日現在）

### 2. 2021 年度 新規入会状況

3 学会

日本肝胆膵外科学会

日本臨床神経生理学会

日本食道学会

## II. 各種会議

### 1. 社員総会

- 2020 年度 事業報告及び決算について承認した。
- 2021 年度 事業計画及び予算について了承した。
- 2021 年度 会費徴収について了承した。
- 役員を選任した。
- 加盟学会の新規加盟について了承した。

### 2. 理事会

- 2020 年度 事業報告（案）及び決算（案）について承認した。
- 2021 年度 会費徴収方法について確認した。
- 2022 年度 事業計画及び予算について承認した。
- 2021 年度 社員総会の議題について了承した。
- 役員改選候補者を設定した。
- 代表理事及び副会長を選定した。
- 加盟学会連絡協議会の議事について了承した。
- 加盟学会の新規加盟について了承した。
- 領域横断的連携活動事業の公募について承認した。
- 第 31 回日本医学会総会における日本医学会各分科会/日本医学会連合各加盟学会のポスター展示について承認した。
- 随時、企画運営会議、各委員会・小委員会・作業部会等の関係機関の報告内容を確認した。
- アカデミアとしての社会的役割について検討し、以下の対応を行った。
  - 声明等
    - ・ 「遺伝情報・ゲノム情報による不当な差別や社会的不利益の防止」についての共同声明を作成した。
  - 委員会等

- ・ 各委員会の委員長及び委員を選任した。
  - ・ 教育および人材育成検討委員会を専門医等人材育成検討委員会に改めた。
  - ・ 研究推進委員会を教育・研究推進委員会に改めた。
  - ・ 研究者育成小委員会を研究者育成に関する検討作業部に改めた。
  - ・ 男女共同参画等検討委員会をダイバーシティ&インクルージョン（D&I）推進委員会に改めた。
- 日本学術会議との連携
- ・ 学術フォーラム コロナ禍を共に生きる[新型コロナウイルス感染症の最前線-what is known and unknown # 1]「新型コロナウイルスワクチンと感染メカニズム」（2021年5月8日）
  - ・ 座談会 新型コロナウイルス感染症に対する学術の取り組みの現状と展望（2021年6月1日）
  - ・ 公開シンポジウム「新型コロナウイルスワクチンを正しく知る」（2021年7月17日）
  - ・ 緊急フォーラム「新型コロナウイルス感染症の災害級流行急拡大への対応」（2021年9月11日）
  - ・ 学術フォーラム コロナ禍を共に生きる[新型コロナウイルス感染症の最前線-what is known and unknown # 2]「新型コロナウイルス感染症の臨床的課題、対策と今後の方向性：臨床の現場を知り、何をすべきか一緒に考えましょう。」（2021年9月18日）
  - ・ 日本学術会議 日本医学会連合 会長対談「新型コロナウイルス感染症に対する学術の取り組みと課題」（2021年10月26日）
  - ・ 公開シンポジウム「生命科学分野におけるジェンダー・ダイバーシティー大学における女性リーダーから見た課題と展望」（2021年10月28日）
  - ・ 公開シンポジウム「生命科学分野におけるジェンダー・ダイバーシティー大学・企業・学協会におけるダイバーシティ推進に向けた取り組み」（2021年12月19日）
  - ・ 学術フォーラム「コロナ禍を共に生きる04[新型コロナウイルス感染症の最前線-what is known and unknown # 3]「新型コロナウイルス感染症の予防と治療 Up-to-date そして変異株への対応」」（2022年3月18日）

### 3. 企画運営会議

- 2020年度事業報告（案）及び決算（案）について了承した。
- 2021年度会費徴収方法について確認した。
- 2022年度事業計画（案）及び予算（案）について了承した。
- 2021年度理事会の議題について検討した。

- 2021年度社員総会の議題について検討した。
- 2021年度加盟学会連絡協議会の議事について了承した。
- 加盟学会の新規加盟について了承した。
- Korean Academy of Medical Sciences との Leadership Meeting を開催した（2021年7月15日）。
- Korean Academy of Medical Sciences との Memorandum of Understanding（案）を作成した。
- 大学医学部定員に「診療科指定枠」を新設する動きへの対応について、全国医学部長病院長会議と意見交換を行った。
- 内閣総理大臣宛の感染症を含む健康危機に強い社会の構築に関わる提言（案）を作成した。
- ロシアによるウクライナ侵攻に関する緊急声明を発出した。
- 研究者皆学修教材の評価に関する要望書について検討した。
- 領域横断的連携活動事業の公募について検討した。
- 随時、各委員会・小委員会・作業部会等の関係機関からの打診内容の検討及び報告内容の確認を行った。
- 以下の依頼について了承した。
  - 後援依頼：新しい感染症対策のあり方を考えるシンポジウム（京都大学大学院医学研究学科 社会健康医学系専攻）
  - 後援依頼：2021年度全国公正研究推進会議（APRIN）
  - 周知依頼：AMED 予防・健康づくりの社会実装に向けた研究開発基盤整備事業（ヘルスケア社会実装基盤整備事業）
  - 講演依頼：日本健康会議 2021 キーノートスピーチ 日本医学会連合 会長講演
  - 講演依頼：日本学術会議 科学者委員会 学協会連携分科会 日本医学会連合 会長講演
  - 講演依頼：2021 Annual Congress of KAMS Congratulatory Messages from Partner Societies 日本医学会連合 会長ビデオメッセージ
- 以下の推薦依頼について検討し、推薦を行った。
  - 社会医学系専門医協会 理事（岸 玲子）
  - 日本医療機能評価機構 EBM 医療情報事業運営委員会 委員（南学 正臣）
  - 日本医療安全調査機構 再発防止委員会委員（大川 淳）
  - 日本専門医機構 理事及び監事候補者選考委員会委員（森 正樹）
  - 日本健康会議 実行委員（門田 守人）
- 以下の内容について確認した。
  - 厚生労働行政推進調査事業費補助金（厚生労働科学特別研究事業）「新型コロナウイルス感染症に対応した新しい生活様式による生活習慣の変化およびその健康影響の解明に向けた研究—生活習慣病の発症および重症化予防の観点から—」（研究分担者：門田 守人）

- 厚生労働行政推進調査事業費補助金（新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業）「新型コロナウイルス感染症による他疾患を含めた医療・医学に与えた影響の解明に向けた研究—今後の新興感染症発生時の対策の観点から—」（研究代表者：門田 守人）
- 厚生労働行政推進調査事業費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）献体による効果的医療技術教育システムの普及促進に関する研究（研究分担者：森 正樹）

#### 4. 各委員会報告

##### (1) 総務委員会

- 選挙管理委員会としての会務を行った。
  - 役員選考にかかわる業務の実施
  - 役員選挙電子投票システムの構築
  - 役員選挙制度の見直しの検討

選挙管理は総務委員会が行っているが、今後は総務委員会からは独立した選挙管理委員会を作るべく、あり方委員会で討議することになった。
- 新体制の構築について検討した。
  - 執行部における専門委員（ナレッジブレイン）の登用
  - 各委員会における若手委員の登用（ダイバーシティも考慮）
  - 事務機能の強化：担当者の役割分担を明確にした
- 加盟学会が抱える共通の課題（代議員、評議員の女性の登用を推進する方策の模索等）への対応について検討した。
- 加盟学会への連絡周知に関して広報委員会とも連携し、その徹底を図るようであることを確認した。
- 関係団体との連携として、医療系学会協議会（仮称）（日本医学会連合・日本歯科医学会連合・日本薬学会・日本看護系学会協議会）の仕組みづくりについて検討した。
- 日本医学会創立 120 周年記念事業にかかわる業務をサポートした。

##### (2) 財務委員会

- 2020 年度 決算報告書を作成した。
- 2021 年度 会費の納入状況を確認した。
- 2022 年度 予算案を作成した。
- 公的研究費（厚労科研費）の運用方針を検討した。
- 公的研究費（厚労科研費）の取扱い状況を確認した。

##### (3) あり方委員会

- 加盟学会以外の団体と連携する場合の会員種別について検討した。
- 日本医学会と連携して、加盟学会からの期待や要望の内容を分析した。

- 役員選挙制度の見直しについて検討し、総務委員会・あり方委員会 役員選挙の見直しに関するワーキンググループ、団体との連携に関するワーキンググループを設置した。
- 2021年度 加盟学会連絡協議会を開催した（オンライン開催。最大接続拠点数：168）。
  - テーマ：「ポストコロナ時代の学術研究活動における知的財産権」
  - 日時：2022年2月9日（水曜日）13時から15時2分まで
  - 会場：オンライン開催（Zoom）
  - プログラム：
    - 司会  
日本医学会連合 副会長 あり方委員会 委員長 門脇 孝
    - 1. 開会の挨拶  
日本医学会連合 会長 門田 守人
    - 2. 「著作権法の近年の改正点」  
小笠原六川国際総合法律事務所 弁護士 六川 浩明
    - 3. 「研究成果の利活用のための権利・契約の考え方 ―クリエイティブ・コモンズを例に一」  
CITY LIGHTS LAW 弁護士 水野 祐
    - 4. 「学術研究活動における知的財産権：国内外の学術集会の運用の観点から」  
東京大学大学院医学系研究科 内科学専攻 器官病態内科学講座 腎臓内科学／生体防御腫瘍内科学講座 内分泌病態学 教授 南学 正臣
    - 5. 「オープンアクセス、オープンサイエンスの潮流からみた論文および研究データの利活用と管理とは」  
文部科学省科学技術・学術政策研究所 データ解析政策研究室 室長 林 和弘
    - 6. 質疑応答、総合討論
    - 7. その他：情報提供
      - (1) 日本医学会創立 120 周年記念事業について
      - (2) 第 31 回日本医学会総会 2023 東京について
    - 8. 閉会の挨拶  
日本医学会連合 副会長 飯野 正光

#### (4) 広報委員会

- Websiteにかかわる会務を行った。
  - 2021年のページビュー数は232,484であった（参考：2020年 ページビュー数：28,424（リニューアルのため、2020年7月から12月までの情報））。
  - お知らせ8件、プレスリリース2件、活動報告2件を発信した。
  - ローテーションバナーにて日本医学会創立120周年記念事業を周知した。
  - 英語化の準備を進めた。
- 医療メディア業社からの連携の打診について検討した。
- 記者会見・記者説明会の運用について検討した。

(5) 専門医等人材育成検討委員会

- 医学部臨時定員枠（地域枠）に「診療科指定枠」を増設する動きへの対応を行った。
- 医学教育のあり方に関し、大学入学時診療科指定枠に関する声明を作成、検討した。

(6) 労働環境検討委員会

- 委員会を1回（2020年2月3日、オンライン）開催した
- 前期委員会から報告書の2件（「日本医学会連合労働環境検討委員会報告書 2 諸課題への対応」および「大学勤務医をはじめとする勤務医の労働環境改善に向けての加盟学会調査報告書」）について理事会の承認を得て公表する準備を行った。
- 前期委員会の成果を踏まえながらテーマを選定し日本医学会連合からの意見表明ができることを目標に活動することとし、当面の検討課題として以下の3点を取り上げて2022年度委員会において検討することとした。
  - 1) 医育機関の働き方改革と研究力の向上
  - 2) 医師の働き方改革制度が女性医師のステップアップを阻害しないための課題整理
  - 3) 医師の働き方改革のための医療供給体制の見直し

(7) ダイバーシティ&インクルージョン（D&I）推進委員会

- 活動範囲を広げるために、委員会名を「男女共同参画等検討委員会」から「ダイバーシティ&インクルージョン（D&I）推進委員会」に変更した。
- 「男女共同参画など多様な背景を持つ会員の学術活動への参画と今後の支援方策に関する調査2021」を実施した。
- 日本医師会と共同で「令和3年度女性医師支援担当者連絡会」を企画した。
- 日本医学会創立120周年記念誌への寄稿「日本の医学・医療におけるジェンダーギャップ」に関する資料を収集した。

(8) 教育・研究推進委員会

- 領域横断的連携活動事業（TEAM事業）

加盟学会間の分野横断的な学術連携に対する支援を行う本事業を公募することとし、制度設計を行った。
- 加盟学会連携フォーラム共催事業

次の4学会からの申請を採択した。日本生化学会、日本臨床検査医学会、日本臨床薬理学会、日本薬理学会。
- 研究者育成に関する検討作業部会

2021年4月～6月にかけて、加盟学会、大学（医学部）及び病院、歯学部、薬学部、公衆衛生・看護保健系の1,700余の機関を対象に研究者育成に関するアンケート調査を実施し、報告書作成の準備を行った。
- ゲノム編集技術の医学応用に関する検討作業部会

検討作業部会メンバーを再編成し、ゲノム編集技術の医学における有用性について紹



介する目的で、体細胞のゲノム編集による新たな治療法に関する Website の設置について検討した。

- 基礎部会 Rising Star リトリート企画委員会

第 2 回の開催（対面での開催）を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けてやむをえず再度延期とした。

- 社会部会若手リトリート実行委員会

研究ネットワーク形成という当初の目標を目指すために、社会医学若手フォーラムを 4 回 Web 開催した（2021 年 6 月、8 月、12 月、2022 年 3 月）。また、研究ネットワークの拡大・強化のため、構成員に社会医学系メンバーに加えて、臨床内科、臨床外科のメンバーを加えた。

- 領域横断的なフレイル・ロコモ対策の推進に向けたワーキンググループ

報告書の作成、領域横断的なフレイル・ロコモ対策を推進する宣言文の公表に向けて、検討した。この取組みについて賛同を募り、日本医学会連合加盟 57 学会及び非加盟 23 学会／団体の計 77 学会／団体の賛同を得た。次いで、領域横断的なフレイル・ロコモ対策の推進に向けたワーキンググループ全体会議に向けた説明会及びアンケートを行い、記者発表の準備を進めた。

(9) 研究倫理委員会

- 「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の改正版に対応する共通倫理指針案を準備した。
- 研究倫理教育にかかわる共通教材に関する検討を実施した。
- 臨床研究法改定に向けた提言を検討した。
- 研究倫理に関する国際学会の日本開催について検討した。
- 研究倫理に関する委員会における勉強会の実施を検討した。
- 研究倫理に関する学会会員への意識調査の実施を検討した。

(10) Japan CDC（仮称）創設に関する委員会（第二次）

- 提言「健康危機管理と疾病予防を目指した政策提言のための情報分析と活用並びに人材支援組織の創設（2021 年 1 月 7 日付）」の実現に向けて具体的な検討を進めるべく、若手・中堅の研究者によるワーキンググループ（Japan CDC working group）を立ち上げた。
- 同ワーキンググループで意見を集約し、次年度に委員会で報告する計画。
- 委員会でワーキンググループの報告の検討を行うと共に、提言発出以降、新型コロナウイルス感染症対策において解決された課題、未解決の課題、新たに出現した課題とそれらへの対処について議論を進める計画。

(11) 健康医療分野におけるビッグデータに関する委員会

- 医学におけるビッグデータを考えるワーキンググループからの改組後、改めて論点整理の準備を行った。

(12) 診療ガイドライン検討委員会

- COVID-19 expert opinion working group を設置し、以下を公開した。
  - 日本医学会連合 COVID-19 ワクチンの普及と開発に関する提言（修正第 5 版 2021 年 7 月 29 日）
  - 日本医学会連合 COVID-19 expert opinion 第 3 版（2021 年 8 月 18 日版）
  - Minds COVID-19 に関する情報提供
- オンライン診療に関する検討会議を設置し、厚生労働省からの要請に基づき検討を行い、以下を公開した。
  - 日本医学会連合 オンライン診療の初診に関する提言（2021 年 6 月 1 日版）

貸借対照表  
(2022年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	155,884,329	140,932,624	14,951,705
前払費用	598,848	469,527	129,321
流動資産合計	156,483,177	141,402,151	15,081,026
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
受取研究費資金	192,293,851	68,885,042	123,408,809
特定資産計	192,293,851	68,885,042	123,408,809
(2) その他の固定資産			
工具器具備品	327,304	327,304	
減価償却累計額	△ 327,303	△ 327,303	0
預託金	40,000	40,000	0
その他の固定資産計	40,001	40,001	0
固定資産合計	192,333,852	68,925,043	123,408,809
資 産 合 計	348,817,029	210,327,194	138,489,835
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	25,859,539	4,308,962	21,550,577
預り金	426,508	363,629	62,879
流動負債合計	26,286,047	4,672,591	21,613,456
2. 固定負債			
引当金	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負 債 合 計	26,286,047	4,672,591	21,613,456
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産	167,766,161	67,543,042	100,223,119
(うち特定資産への充当額)	(167,766,161)	(67,543,042)	(100,223,119)
2. 一般正味財産	154,764,821	138,111,561	16,653,260
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	322,530,982	205,654,603	116,876,379
負債及び正味財産合計	348,817,029	210,327,194	138,489,835

2021年度年度損益計算書  
(正味財産増減計算書)

一 般 会 計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1、経常増減の部			
(1)経常収益			
受取会費	59,192,250	58,611,400	580,850
雑収益	12,922	48,240	△ 35,318
受取利息	2,769	1,244	1,525
雑収益	10,153	46,996	△ 36,843
経常収益計	59,205,172	58,659,640	545,532
(2)経常費用			
事業費	18,980,451	7,096,343	11,884,108
旅費交通費	1,589,700	1,897,604	△ 307,904
諸謝金	209,959	412,500	△ 202,541
助成費	1,700,000	1,400,000	300,000
賃借料	20,625	134,670	△ 114,045
会議費	7,792	874	6,918
通信運搬費	412,936	180,924	232,012
消耗品費	91,190	0	91,190
印刷製本費	80,652	372,900	△ 292,248
図書・文献購入費	0	1,010	△ 1,010
人件費	10,326,018	0	10,326,018
委託費	4,490,814	2,695,018	1,795,796
渉外費	0	0	0
支払手数料	50,765	843	49,922
租税公課	0	0	0
雑費(予備費)	0	0	0
管理費	22,344,564	44,530,139	△ 22,185,575
旅費交通費	1,237,280	1,020,266	217,014
諸謝金	2,004,463	1,593,900	410,563
保険料	21,600	21,600	0
賃借料	3,180,138	3,163,766	16,372
会議費	35,803	38,472	△ 2,669
通信運搬費	3,504,922	1,418,287	2,086,635
消耗品費	1,621,423	2,231,225	△ 609,802
消耗什器備品費	474,089	916,690	△ 442,601
リース料	1,205,892	1,196,553	9,339
修繕費	455,400	1,346,400	△ 891,000
減価償却費	0	78,416	△ 78,416
印刷製本費	0	0	0
図書・文献購入費	50,160	30,600	19,560
人件費	10,372,176	19,190,701	△ 8,818,525
教育訓練費	37,400	0	37,400
委託費	8,925,723	6,637,783	2,287,940
広報費	0	3,722,200	△ 3,722,200
諸会費	4,400,000	1,400,000	3,000,000
渉外費	0	0	0
支払手数料	382,800	453,280	△ 70,480
租税公課	154,150	70,000	84,150
雑費(予備費)	0	0	0
厚労科研ICT間接経費	△ 706,036	0	△ 706,036
厚労科研コロナウイルス間接経費	△ 15,012,819	0	△ 15,012,819
経常費用計	41,325,015	51,626,482	△ 10,301,467
当期経常増減額	17,880,157	7,033,158	10,846,999
2、経常外増減の部			
(1)経常外収益	0	0	0
(2)経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	△ 313,370	0	△ 313,370
当期一般正味財産増減額	17,566,787	7,033,158	10,533,629
一般正味財産期首残高	137,198,034	130,164,876	7,033,158
一般正味財産期末残高	154,764,821	137,198,034	17,566,787
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	154,764,821	137,198,034	17,566,787

## 特別会計（記念事業）

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1、経常増減の部			
(1) 経常収益	0	0	0
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	0	313,370	
旅費交通費	0	196,770	△ 196,770
委託費	0	50,600	△ 50,600
諸謝金	0	66,000	△ 66,000
経常費用計	0	313,370	△ 313,370
当期経常増減額	0	△ 313,370	313,370
2、経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	313,370	0	313,370
当期一般正味財産増減額	313,370	△ 313,370	626,740
一般正味財産期首残高	△ 313,370		△ 313,370
一般正味財産期末残高	0	△ 313,370	313,370
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	0	△ 313,370	313,370

特別会計（厚生労働省研究費ICT）

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1、經常増減の部			
(1) 經常収益			
受取研究費	0	16,101,000	△ 16,101,000
直接経費	0	16,021,000	△ 16,021,000
間接経費	0	80,000	△ 80,000
經常収益計	0	16,101,000	△ 16,101,000
(2) 經常費用			
研究費支出	520,861	15,558,000	
直接経費	△ 235,139	15,501,000	△ 15,736,139
間接経費		57,000	△ 57,000
返納金	756,000	0	756,000
經常費用計	520,861	15,558,000	△ 15,037,139
当期經常増減額	△ 520,861	543,000	△ 1,063,861
2、經常外増減の部			
(1) 經常外収益	0	0	0
(2) 經常外費用	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
他会計振替額	△ 706,036	0	△ 706,036
当期一般正味財産増減額	△ 1,226,897	543,000	△ 1,769,897
一般正味財産期首残高	1,226,897	683,897	543,000
一般正味財産期末残高	0	1,226,897	△ 1,226,897
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	0	1,226,897	△ 1,226,897

特別会計（厚労科研コロナウイルス(20CA2046)）

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	0	0
II 指定正味財産増減の部			
(1) 經常収益			
受取研究費	205,442,000	70,303,000	135,139,000
直接経費	162,899,900	49,212,100	113,687,800
間接経費	42,542,100	21,090,900	21,451,200
經常収益計	205,442,000	70,303,000	135,139,000
(2) 經常費用			
研究費支出	105,218,881	2,759,958	102,458,923
直接経費	82,220,062	840,584	81,379,478
間接経費	22,998,819	1,919,374	21,079,445
經常費用計	105,218,881	2,759,958	102,458,923
当期經常増減額	100,223,119	67,543,042	32,680,077
2、經常外増減の部			
(1) 經常外収益	0	0	0
(2) 經常外費用	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	100,223,119	67,543,042	32,680,077
指定正味財産期首残高	67,543,042	0	67,543,042
指定正味財産期末残高	167,766,161	67,543,042	100,223,119
III 正味財産期末残高	167,766,161	67,543,042	100,223,119

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
- ・固定資産の減価償却は、次の方式を採用している。  
工具器具備品…定率法
- (2) 消費税等の会計処理
- ・消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 特定資産の当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
受取研究費資金	0	272,985,042	80,691,191	192,293,851
合計	0	272,985,042	80,691,191	192,293,851

### 3. 担保に供している資産

該当なし

### 4. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高および当該債権の当期末残高

貸倒引当金の計上をしていない

### 5. 保証債務等の偶発債務

該当なし

### 6. 満期保有目的の債券の内訳ならびに帳簿価額、時価および評価損益

該当なし

### 7. 補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額および残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
令和2年度厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業)	厚生労働省	1,226,897	0	1,226,897	0	一般正味財産
令和2年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(厚生労働科学特別研究事業)	厚生労働省	67,543,042	205,442,000	80,691,191	192,293,851	指定正味財産

### 8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし

### 9. 関連当事者との取引の内容

該当なし

### 10. 重要な後発事象

該当なし

## 附属明細書

### 1. 特定資産の明細

財務諸表の注記に記載のため省略

### 2. 引当金の明細

該当なし



# 監査報告書

2022年5月19日

一般社団法人日本医学会連合  
会長 門田 守人 殿

一般社団法人 日本医学会連合

監事 北 潔

監事 秋葉 澄伯

監事 神庭 重信

監事 里見 進

2021年4月1日から2022年3月31日までの事業年度における一般社団法人日本医学会連合の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

## 1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の状況等の報告を受け、随時説明を求めました。

## 2. 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しています。

以上